

# JACET Kansai Newsletter

No. 101 July 1, 2025

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 石川慎一郎(神戸大学)(Chapter President: Shin'ichiro ISHIKAWA, Kobe University)

事務局: 〒612-8577 京都府京都市伏見区深草塚本町 67

龍谷大学経営学部 山岡華菜子研究室内 JACET 関西事務局 山岡華菜子

(Chapter Office:c/o Kanako YAMAOKA, Faculty of Business Administration, Ryukoku University, 67 Tsukamoto-cho, Fukakusa, Fushimi-ward, Kyoto city, Kyoto 612-8577)

URL: <http://www.jacet-kansai.org/> (関西支部へは左の URL からご連絡ください)

## 巻頭言:よろしくお願ひします。石川です。

石川 慎一郎(新支部長)

2025年6月15日付けの法人理事会において、関西支部長となつた石川です。はじめに、前任支部長であった門田修平先生のこれまでのご尽力に支部を代表して御礼を申し上げます。今後は、門田先生の運営方針を引き継ぎ、微力ながら2年間務めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今回は、自己紹介に代えて、これまでのJACETとの関係を振り返ってみます。私がJACETに入ったのは、おそらく20代の終わりぐらいで、当時私は、静岡の大学に勤めていました。中部支部の大会に参加して、コーパスを使った語彙分析の発表をしたことがあったのですが、それを本部講師として参加されていた村田年先生(元千葉大)に聞いていただき、先生が主宰させていたJACET語彙表改訂プロジェクトに誘っていただくことになりました。その後、当時のJACET4000をJACET8000に拡張し、さらにJACET8000 v2に改訂して今に至っています。

静岡でしばらく勤めた後、広島の私大に転任します。そこで中国・四国支部の役員にしていただき、紀要の投稿規定づくりなどをやりました。若い役員も多く、喧々譁々の議論を懐かしく思い出します。

広島に3年いて、その後、母校の神戸大に戻ってきました。そのタイミングで当時の岡田伸夫支部長(元大阪大)から突然のお電話(メールではない!)をいただき、支部の事務補佐になりました。このころの関西支部は、故相川真佐夫先生(元京都外大)がスーパー幹事として敏腕をふるっておられ、諸事完璧な運営をなさっておいででした。横でそれを見ていて、会議の準備、当日の会議の進行、資料の作成、議事録の書き方、資料の記録保管など、多くのことを学ばせていただきました。また、当時の理事でおられた豊田昌倫先生(元京都大)からは人事を滞留させないための定年制の重要性を、原田園子先生(元神戸女学院大)からはボランティアで参加してくださっている役員や会員を大切にした運営の重要性を教わりました。

その後、木村博是支部長(元近畿大)のもとで幹事(今で言う「総務正幹事」)をすることになりました。このとき、あまりに激務で、引き受けると他の仕事が何もできなくなると言われていた幹事職を職務別に3分割し、かつ、正副に分けて、2年で卒業する新制度を考案し採用されました。関西だけのこの仕組みは本部には不評のようです

が(笑)、今もこの仕組みが続いているのは感慨深いです。

研究企画委員も長くやらせていただきました。野口ジュディ支部長(元武庫川女子大)時代に、加藤雅之委員長(元神戸大)のもと、中西のりこ先生(神戸学院大)と一緒に副委員長をやった2年間はとくに楽しかったです。有名な論客を招いて壇上で対決(?)してもらうなど、いろいろ面白い企画をやりました。当時の正副委員長には会場の下見の仕事もあり、大阪薬大を3人で訪問し、薬園を拝見したことでも懐かしい思い出です。

小栗裕子支部長(元滋賀県立大)の時代には、支部選出理事(当時は各支部で支部長以外にもう1名が理事になれた)にしていただきました。ここで学んだのは、JACETは非常に大きな組織で、何かを変えるのが本当に大変だ、ということでした。理事として、当時役員しか推薦できなかったJACET賞を会員誰でも推薦できるようにする改正を提案しましたが、これは理事退任後数年してようやく実現したところです。ついでに、理事在任中「JACETを発展改組して、関連学会とくっつけて日本応用言語学会へ!」という壮大な夢も語りましたが、これは残念ながら全く動いていません。理事退任後は、故新田香織委員長(元近畿大)のもとで編集委員をやり、紀要編集の仕事を勉強させていただきました。

最近は自分の研究上の関心が英語から日本語にシフトしてきたこともあり、JACETの活動からも離れていましたが、縁あってまた運営に携わることとなりました。任期2年間の目標はただ1つ、「今以上に、明るく元気な関西支部にしたい」ということです。

手始めに、会員が、日々の研究や教育実践について気軽にシェアできる研究交流会(REP)という新企画を立ち上げました。6月開催の初回は6件の発表があり、93名の方にご参加いただきました。引き続いて行われた講演会には119名のご参加があり、延べで200名以上の方にお越しをいただきました。

これを年間3回行い、1年間の集大成となる支部大会の活性化につなげていければと思っております。2026年3月の支部大会では、コロナ禍以来初となる懇親会の復活も検討していただけたことになりました。支部は会員の皆さんのが参加あって初めて成り立つものです。どうかご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

## ■今年度のイベント・カレンダー■ Event Calendar of AY 2025

日時 (Date)	行事・概要 (Event)
2025/6/21	第1回研究交流会(REP)@オンライン ＊開催済 Kansai Chapter Research Exchange Platform (REP), 1st Meeting 第1回支部講演会・支部役員会@オンライン ＊開催済 Kansai Chapter 1st Lecture Meeting / Chapter Board Meeting, Online
2025/9/30	『JACET 関西支部紀要』28号投稿原稿締切 The deadline to submit a paper for <i>JACET Kansai Journal</i> No. 28
2025/10/18	第2回研究交流会(REP)@オンライン 第2回支部講演会・支部役員会 @オンライン Kansai Chapter Research Exchange Platform (REP), 2nd Meeting Kansai Chapter 2nd Lecture Meeting / Chapter Board Meeting, Online
2025/11/15	支部総会@オンライン Chapter Annual Meeting, Online
2026/2/21	第3回研究交流会(REP)@オンライン 第3回支部講演会@オンライン Kansai Chapter Research Exchange Platform (REP), 3rd Meeting Kansai Chapter 3rd Lecture Meeting, Online
2026/3/7	支部大会・支部役員会@大阪成蹊大学 Kansai Chapter Conference / Chapter Board Meeting, Osaka Seikei University
2026/3/31	『JACET 関西支部紀要』28号刊行 Publication of <i>JACET Kansai Journal</i> No. 28

上記イベントは諸事情により変更が生じる場合がございます。最新情報は支部ホームページ(<http://www.jacet-kansai.org/>)にて随時更新しておりますので、ご確認ください。

Please check the Kansai Chapter website for specific details: <http://www.jacet-kansai.org/>.

## ■2025年度第1回支部役員会報告■ Report on the First Chapter Meeting

2025年6月21日に第1回支部役員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

### 1. 2026年度国際大会引き受け

関西支部での引き受けが承認され、その後、会場候補校が確定しました。

### 2. 支部紀要投稿要領改訂

刊行論文をアーカイブなどに採録する際の著作権記述に関する変更がなされました。

### 3. 年次計画の修正

支部大会の会場変更、一部行事の日程変更などが承認されました。

#### Main Agenda Items and Decisions:

##### 1. Hosting of the 2026 International Conference

It was approved that the Kansai Chapter will host the 2026 International Conference. A candidate venue has been confirmed.

##### 2. Revision of Chapter Bulletin Submission Guidelines

Changes were made regarding copyright statements, particularly for articles to be included in archives and similar repositories.

##### 3. Amendment of the Annual Plan

Changes to the venue of the Chapter conference and adjustments to the schedule of certain events were approved.

## ■2025年度 JACET 関西支部大会■ Kansai Chapter 2025 Conference

2025年度の支部大会は、以下の要領で開催されます。詳細は後日公開致します。ふるってご応募ください。

日時:2026年3月7日(土)

場所:大阪成蹊大学 駅前キャンパス

テーマ:AI時代に求められる英語力:実践と評価

基調講演には安藤昇先生(青山学院大学、株式会社バザール)と、日野信行先生(大阪大学名誉教授、追手門大学教授)をお招きします。多くの皆様と、新時代における英語力について共に考える機会にしたいと思います。

We are pleased to announce that the Kansai Chapter 2025 Conference will be held on March 7, 2026, at Osaka Seikei University, Ekimae Campus. The conference theme is "English Competence in the AI Age – Aspects of Practice and Evaluation." Further details will be announced in due course. We cordially invite submissions from interested participants and look forward to your active participation. We are honored to welcome Mr. Noboru ANDO (Aoyama Gakuin University) and Dr. Nobuyuki HINO (Professor Emeritus of The University of Osaka/Professor of Otemon Gakuin University), as our keynote speakers. We sincerely hope the conference will serve as a meaningful opportunity for all participants to reflect deeply on the English competence required in the AI-driven age. We warmly welcome everyone to join us in this exciting event.

## ■2025年度第1回研究交流会 REP 報告■ Research Exchange Platform (REP), 1st Meeting

本年度からスタートした研究交流会—REP (Research Exchange Platform)の初回が、2025年6月21日(土)にオンラインにて開催されました。ChatGPTに関するワークショップ1件と、批判的思考力開発、オンデマンド授業実践、英作文の指導や分析に関する5件の発表がありました。多様性をキーワードにしたREPにふさわしい構成となり、またそれぞれの発表が非常に深みのある内容で、参加者の関心を呼んでいました。今後も会員の皆様の研究や教育実践の成果を共有できる場として、浸透していくことを願います。

鳴田和美(関西外国語大学)

日時:2025年6月21日(土) 14:00~15:10

会場:オンライン(ZOOM)

発表者: 神谷健一(大阪工業大学)

Záborská Schack Dorota(大阪大学)  
益田拓実(神戸大学大学院博士前期課程)  
柏原郁子(摂南大学)・藤原崇(摂南大学)・宍戸貢(成美堂)  
築地原尚美(滋賀県立大学)  
FU Gang(神戸大学大学院博士前期課程)  
(敬称略, 順不同)

The first meeting of the Research Exchange Platform (REP) was successfully held online on Saturday, June 21, 2025. The program featured one workshop on ChatGPT and five presentations on topics such as the development of critical thinking skills, on-demand lesson practices, and the teaching and analysis of English composition. It was well-suited to REP's central theme of diversity, with each presentation offering rich and deep insights that captured the interest of participants. We look forward to seeing REP continue to grow as a valuable forum for sharing members' research and educational practices.

Kazumi TSUTADA (Kansai Gaidai University)

Date and Time: Saturday, June 21, 2025, 14:00–15:10

Venue: Online (ZOOM)

Presenters:

Kenichi KAMIYA (Osaka Institute of Technology)  
Dorota Záborská SCHACK (The University of Osaka)  
Takumi MASUDA (Master's Program, Kobe University Graduate School)  
Ikuko KASHIWABARA (Setsunan University) Takashi FUJIWARA (Setsunan University) Mitsugu SHISHIDO (Seibido Publishing CO., LTD.)  
Naomi TSUICHIBARU (The University of Shiga Prefecture)  
FU Gang (Master's Program, Kobe University Graduate School)

\* Titles omitted; names listed in no particular order

## ■2025年度第1回支部講演会 報告■ Kansai Chapter First Lecture Meeting

2025年度第1回支部講演会「言語学の研究成果をどう英語教育に活かすか?コーパス言語学・心理言語学からの展望」は、2025年6月21日(土)にオンライン(ZOOM)にて開催されました。

はじめに、神戸大学の石川慎一郎先生がご専門のコーパス言語学の観点から大学英語教育との関係を議論され、続いて、関西学院大学名誉教授・高野山大学の門田修平先生が心理言語学の観点から同じく大学英語教育との関係を議論されました。

講演後のお二人による対談を受け、参加者間で活発な議論が繰り広げられました。参加者にとっては、言語学研究と英語教育の関係を改めて考える良い機会となり、講演会は多くのご参加者と好評を得て盛況のうちに終了しました。

上田眞理砂(立命館大学)

日時:2025年6月21日(土) 15:20~17:00

会場:オンライン(ZOOM)

講師:石川慎一郎先生(神戸大学)、

門田修平先生(関西学院大学・高野山大学)

The 1st Kansai Chapter Lecture Meeting was held on Saturday, 21st June 2025. In this lecture meeting, Professor Shin'ichiro ISHIKAWA from Kobe University began by discussing the relationship between corpus linguistics—his area of specialisation—and university English education. This was followed by Professor Emeritus Shuhei KADOTA from Kwansei Gakuin University and currently of Koyasan University, who discussed the same topic from the perspective of psycholinguistics. Following the lectures, the two professors engaged in a dialogue, which led to lively discussions among the participants. For all who attended, the event provided a valuable opportunity to reconsider the relationship between linguistic research and English education. The lecture meeting concluded successfully, receiving high praise and strong participation.

Marisa UEDA (Ritsumeikan University)

Date and Time: Saturday, June 21, 2025, 15:20-17:00

Lecture Title:

*How Can Research Findings in Linguistics Be Applied to English Education?*

— Perspectives from Corpus Linguistics and Psycholinguistics

Lecturers:

Dr. Shin'ichiro ISHIKAWA (Kobe University)  
Dr. Shuhei KADOTA (Kwansei Gakuin University / Koyasan University)

## ■JACET 第64回国際大会のお知らせ■ JACET 64th International Convention

2025年8月27日(水)から29日(金)まで早稲田大学にてJACET第64回国際大会が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ:新時代における英語教師力の強化

日程:2025年8月27日(水)~8月29日(金)

場所:早稲田大学(早稲田キャンパス)

〒169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1

<https://jacet.org/cfregistration/registration/>

We are pleased to announce that the 64th International Convention will be held on August 27 to 29, 2025. We look forward to welcoming you to Tokyo.

Theme: Enhancing English Teacher Capabilities for a New Era

Dates: Wednesday, August 27 — Friday, August 29, 2025

Venue: Waseda University, Tokyo (Waseda Campus)

1-6-1, Nishi-Waseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-8050

## ■紀要編集委員会より■ Messages from Editorial Committee

『JACET 関西支部紀要』第27号を2025年3月末に会員の皆様にお届け致しました。研究論文3本を掲載しております。ご協力いただきました査読委員の先生方には、紀要編集委員会一同改めまして心よりお礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひいたします。

2025年7月1日より、第28号の投稿受付を開始いたします(投稿締切:9月30日)。第25号から「研究論文」「研究ノート」「実践研究論文」「実践ノート」(以上査読有)「SIG報告」(査読無)の5つの種別への投稿が募集されています。「研究論文」「実践研究論文」は20ページ以内、「研究ノート」「実践ノート」は15ページ以内、「SIG報告」は6ページ以内となっています。詳細はJACET関西ウェブサイトをご覧ください。

支部ホームページ(<http://www.jacet-kansai.org/>)の投稿用テンプレート(WORD)をそのままご使用いただければ幸いです。

投稿期限:2025年9月30日(金)午後11時59分

論文送付先:紀要編集委員会 事務局長

板垣 静香(立命館大学)

jacetkj [AT] gmail.com

提出方法:ウェブサイトでの申し込みと電子メールでの添付ファイル(WORDとPDF)。

(原稿郵送は受け付けません。)

※受領後3日以内に事務局より確認の返信が届きます。

万一、3日経っても返信が届かない場合には、上記のメールアドレスにお問い合わせください。

※提出方法の詳細は、支部ホームページ

<http://www.jacet-kansai.org/submission.html>

をご覧ください。

重要な日程:

2025年9月30日(必着)

投稿原稿締切

2025年11月30日

審査結果通知

2026年1月6日(必着)

最終修正原稿締切

2026年3月31日

刊行

The JACET Kansai Journal (JKJ) Editorial Committee announced the publication of JKJ No.27, which was sent to members at the end of March, 2025. The journal contains three research papers. The Editorial Committee would like to express its sincere gratitude to the reviewers who devoted much time and effort to the editorial process.

We welcome your submissions for the next issue, JKJ No. 28, which requires online registrations starting on July 1st.

Please check the guidelines for details on the submission procedures and requirements. You can find the details on the JACET KANSAI website.

Please use our template so that we can minimize our proofreading process.

1. Go to JACET Kansai Chapter website, and submit your application.
2. Send your manuscripts (WORD and PDF) to:  
Shizuka ITAGAKI (Ritsumeikan University)  
JACET Kansai Journal Secretariat  
jacetkj [AT] gmail.com

Only e-mail submission will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will NOT be accepted. Prepare your manuscript according to the JKJ instructions using Microsoft Word. Send it as an attached file with an email message to Shizuka ITAGAKI (Ritsumeikan University), Secretariat, JACET Kansai Journal.

If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please email the Secretariat to request confirmation.

Important Dates:

- Deadline for manuscripts:  
September 30, 2025 (via email as an attached file)
- Announcement of editorial decision:  
November 30, 2025
- Deadline for receipt of revised final manuscripts:  
January 6, 2026 (via email as an attached file)
- Publication: March 31, 2026

Please refer to the guidelines and template at the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

## ■事務局より■ Messages from Kansai Chapter

4月1日より、支部事務局を担当します総務幹事の山岡華菜子です。1年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本年度の体制は、石川慎一郎支部長、松田紀子副支部長、山中司副支部長を中心として、総務幹事を山岡・大槻きょう子先生、財務幹事を野田三貴先生・坂本輝世先生、紀要幹事を板垣静香先生・星原光江先生、広報幹事を松岡真由子先生・石田菖先生が務めます。この新体制で、会員の皆様にとって意義深く魅力ある支部活動となるよう、互いに協力しながら取り組んでまいります。

また、本年度の研究企画委員会の体制として、委員長を薦田和美先生、副委員長を後藤秀貴先生・豊田順子先生が務めます。合計19名の研究企画委員が心強い布陣で支部大会を盛り上げてまいります。皆様のあたたかいご理解とご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

以下、2025年度に役員に就任された先生方と2024年度をもってご退任された先生方より、心温まるメッセージを頂戴いたしましたので、ご紹介させていただきます。退任された先生方におかれましては長年にわたり支部の発展にご尽力くださいましたこと、深く感謝申し上げます。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

## ■新任のご挨拶■ Messages from Kansai Chapter Officers Beginning Their Term of Office

### 新副支部長 松田 紀子先生(近畿大学)

このたび、副支部長を拝命いたしました、近畿大学の松田紀子と申します。JACETでは、これまでに多くの素晴らしい先生方と出会う機会に恵まれてまいりました。今後も新たに多くの先生方とお会いできることを、たいへん楽しみしております。微力ではございますが、本支部の発展、ならびに会員の皆さまの交流と研究の促進に貢献できるよう、誠心誠意努めてまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 新副支部長・紀要編集委員長 山中 司先生(立命館大学)

この度、副支部長を担当させて頂くことになりました立命館大学の山中です。私は主として紀要関連の業務を担当させて頂きます。JACETの中でも関東に次ぐ大規模な支部であるJACET関西ですが、少しでも会員の方に有意義なサービスを提供できているかどうか、そのための努力を行なっているかどうかは常に問い合わせなければならない問い合わせています。是非、様々なお知恵を頂戴したく、ご教示、ご支援のほど宜しくお願ひ致します。

### 新財務幹事 坂本 輝世先生(滋賀県立大学)

今年度より2年間、財務幹事を務めさせていただくことになりました、滋賀県立大学の坂本と申します。JACET関西支部では、2018年度および2019年度に紀要幹事として、紀要編集業務をはじめ、さまざまなことを学ばせて

いただきました。このたび、野田三貴先生よりお声掛けをいただき、思いがけず学会の財務に関わることとなり、身の引き締まる思いでおります。皆様のご指導とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 新広報幹事 石田 菖先生(関西大学)

このたび、新たに広報幹事(副)を務めさせていただきました、関西大学の石田菖と申します。初めてのことばかりで、至らぬ点も多いかと存じますが、どうぞよろしくお願ひいたします。これから多くの先生方とお目にかかり、お話しできることを楽しみにしております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 新紀要幹事 星原 光江先生(京都ノートルダム女子大学)

このたび、4月1日付で紀要幹事(副)を拝命いたしました星原光江と申します。微力ではございますが、新体制の皆様とともに、先生方のご迷惑とならぬよう精一杯努めてまいります。至らぬ点もあるかと存じますが、ご指導ご支援のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 新研究企画委員会委員長 薦田 和美先生(関西外国語大学)

本年度思いがけず研究企画委員会の委員長を拝命いたしました。当委員会は主に毎年恒例の JACET 関西支部の支部大会の企画・運営を行います。関西支部にとつて重要な大会ですので、重責を感じておりますが、他の12名の委員の先生方のご協力のもと、意義あるそして魅力ある大会になるよう段階を踏んで進めてまいる所存です。大会当日の研究発表を含めて、会員の皆様の積極的なご参加をよろしくお願ひいたします。

## ■退任のご挨拶■ Messages from Kansai Chapter Officers Completing Their Term of Office

### 旧支部長 門田 修平先生(関西学院大学名誉教授・高野山大学特任教授)

関西支部長を2年間つとめさせていただきました。この間、幹事・会員の先生方に支えられとても貴重な体験を積ませて頂きました。深謝申し上げます。昨年のNewsletter98号でも触れましたが、英語(第二言語)を処理・学習する際のこころの中のしくみに関する研究成果が示唆する、認知・社会・情動の3システムを統合したウェルビーイングをめざすアプローチが、今後さらに充実した学習環境を提供できるのではないかと念じています。

### 旧副支部長・紀要編集委員長 石川 圭一先生(関西学院大学)

副支部長と兼ねて、紀要編集委員長を2年間務めさせていただきました。その間、特に、編集委員の先生方、紀要幹事の先生方のご尽力のお陰で、JACET Kansai Journal 26号と27号を無事発刊することができました。また、掲載論文のJ-STAGEへの公開を始めることができました。改めて、ご協力頂きました先生方に御礼を申し上

げたく存じます。本紀要と共に、JACET 関西支部の今後の発展を祈念いたします。

### 旧副支部長 中西 のりこ先生(神戸学院大学)

副支部長としての 2 年間、大変お世話になりました。支部長の門田修平先生、副支部長の石川圭一先生のもと、温かい雰囲気で業務に携わることができましたこと、お礼申し上げます。思えば 2012 年度からの研究企画委員、2017 年度からの財務幹事のお仕事も含め、JACET 関西でたいへん多くのご縁に恵まれてきました。今後 2025 年度からの 2 年間は、国際大会組織委員会本部委員として引き続きお世話になります。よろしくお願ひします。

### 旧総務幹事・事務局 三木 浩平先生(近畿大学)

広報幹事、財務幹事の後、2023 年度から総務幹事を 2 年間担当させていただきました。コロナ禍とその前後で学会運営の変化もいろいろとあったと思いますが、その流れの中で JACET 関西の運営を経験させていただいたことは、自分自身にとって様々な学びにつながりました。そして、学会活動を通して、たくさんの先生方と関わりを持たせていただいたことも、自分自身に大きな影響を与えてくれました。心より感謝申し上げます。今後の JACET 関西支部の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

### 旧財務幹事 田中 美津子先生(大阪公立大学)

研究企画委員、財務幹事として 4 年間、学会運営に携わさせていただきました。不慣れな点も多々あったかと思いますが、貴重な経験と学びを得ることができ、心より感謝しております。このたび任期を終え、委員を退任いたしますが、今後も一員として、学会でお目にかかるのを楽しみしております。これまでご指導・ご支援を賜りました多くの先生方に、改めて深く感謝申し上げますとともに、学会のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

### 旧広報幹事 山下 美朋先生(立命館大学)

研究企画委員、広報と 4 年間にわたり勤めさせて頂きました。研究企画委員のときは、コロナ禍でオンラインでの大会を開催し、慣れない運営に委員の先生方に助けて頂きました。広報幹事として ML やホームページで告知をする際には、現正幹事の松岡先生にお手伝い頂きました。要領を得ず皆様にご迷惑をおかけすることが多かったと思います。ホームページも素晴らしい一新され、私には力には及ばずでしたが、関西支部の委員の皆様にはいつも優しく支えて頂き、ご一緒できたことは一重に感謝しかありません。ありがとうございました。役員を終え、これからは一員として大会に参加していきたいと思います。関西支部の益々のご発展を祈念しております。

### 旧研究企画委員長 山中 司先生(立命館大学)

2023 年度、2024 年度と研究企画委員長を務めさせて頂きました。2 回ほど支部大会を主催させて頂きましたが、さすが JACET 関西の規模、多くの方にご参加頂くことができました。大変ありがとうございました。研究企画委員は JACET 関西の研究推進を担う立場であると認識していますが、そういった推進や促進にまでは手がいかなかった

のはひとえに私の力不足であると思います。これからは研究企画委員会のますますの発展を祈念致します。

### 旧研究企画委員 平野 亜也子先生(京都産業大学)

2022 年度から 3 年間、研究企画委員を務めさせていただきました。前委員長の山下先生、現委員長の山中先生、また研究企画委員の先生方には、大変お世話になり、ありがとうございました。また、多くの会員の皆様からの温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。貴重な学びと出会いに恵まれた日々でした。今後も一員として、英語教育の発展に微力ながら貢献してまいりたいと存じます。

### 旧研究企画委員 大賀 まゆみ先生(立命館大学)

2023 年度から 2 年間、研究企画委員を務めさせていただきました。在任中は、多くの皆様に支えていただき、貴重な経験を積むことができました。心より感謝申し上げます。JACET 関西支部の、今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

### 旧研究企画委員 ルドルフ ナサニエル先生(近畿大学)

2022 年度から 3 年間、研究企画委員を務めさせていただきました。オンライン形式および対面形式の支部のミーティングで数え切れないほどの才能あるプロフェッショナルたちと出会い、ボランティア活動をする機会に恵まれました。JACET 関西支部のますますのご発展をお祈り申し上げます。

### 旧研究企画委員 スミザーズライアン先生(大谷大学)

JACET 関西支部の研究企画委員として、2021 年から 2025 年までの間、活動させていただく機会をいただき、誠にありがとうございました。この期間、多くの熱意ある教育者や研究者の皆様と交流する貴重な機会をいただき、大変感謝しております。これらの経験は、教育者としての成長にとって大きな財産となり、私の職業人生に深い影響を与えました。JACET 関西支部の今後のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。今後とも引き続きご縁を大切に、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 旧紀要編集委員 香林 純子先生(摂南大学)

紀要編集委員長の石川圭一先生をはじめ 紀要幹事、紀要編集委員の先生方には 2 年間大変お世話になりました。先生方と学会誌を作り上げていく過程が大変刺激的で多くのことを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。これからは一員として参加させていただき、研鑽に励む所存です。末筆ながら研究 JACET 関西支部の益々のご発展をお祈り申し上げます。

### 旧セミナー事業委員会 吉村 征洋先生(龍谷大学)

2023 年度と 2024 年度の 2 年間、セミナー事業委員を担当いたしました。当時の支部長だった植松茂男先生から、「吉村君、セミナー事業委員やってくれへんかな?」とご連絡いただいたことを今でも鮮明に覚えております。セミナー事業委員会では広報担当でしたが、多岐にわたる業務に携わる中で、様々な経験をすることができました。

これからは一員として、JACET 関西支部の発展に寄与できたらと思います。

#### 旧大学英語教育学会賞選考委員会 今野 勝幸先生(龍谷大学)

2023 年度より大学英語教育学会賞選考委員を務めさせていただきました。JACET 関西支部の委員として計 6 年間お世話になりましたが、支部長を中心とした大変素晴らしいチームの中で活動することができ、多くのことと学ぶことができましたこと、そして、その中で大変多くの先生方に出会うことができたのは、私の財産です。心より感謝申し上げますとともに、JACET 関西支部の益々のご発展をお祈りしております。

#### 旧社員 藤澤 良行先生(大阪樟蔭女子大学)

2025 年 3 月末で JACET 社員の任期が満了し、関西支部の役員としてのお役目も終了しました。2015 年に事務局幹事となって以来ですから、通算 10 年の間関西支部役員の皆さまには大変お世話になりました。たくさんの先生方との知己を得たことは私にとって貴重な財産です。今後は外から JACET 関西支部への声援を続けます。石川慎一郎新支部長の元、ますますご発展されることをお祈りします。

#### 旧社員 原田 洋子先生(大阪公立大学)

企画委員としての 4 年間、支部大会や講演会の企画に携わる中で、活動を通じて多くの先生方と出会い、密に交流を深めることができました。この貴重な経験から、深い学びと共に大きな喜びを得ました。また、2024 年度まで社員として務めた 4 年間では、本部が熱意溢れる先生方によって支えられていることを強く実感いたしました。このような素晴らしい機会を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。今後も様々な場で皆様にお目にかかるまでもを楽しみにしております。

#### 旧社員 小栗 裕子先生(元関西外国語大学)

長期に渡り「yakuin-ml」のお世話になったような気がいたします。この間多くの先生方と共に関西支部の運営に携わることができて、貴重な経験をいたしました。本当にありがとうございます。関西支部の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

#### 旧社員 笹井 悅子先生(桃山学院大学非常勤)

研究企画委員に始まり、社員退任に至るまで長きにわたり大変お世話になりました。多くの素晴らしい先生方と一緒にさせていただき、学会運営の一端に携われたことは、私にとってかけがえのない経験となりました。先生方の温かいご指導のおかげで多くの学びをいただきました。心より感謝申し上げます。末筆ながら JACET 関西支部の益々のご発展を祈念しております。

#### 旧社員 里井 久輝先生(龍谷大学)

短い期間ではございましたが、社員として大変お世話になりましたが、誠にありがとうございました。JACET 関西支部のこれから益々の御発展と皆様の御活躍を衷心よりお祈

り申し上げます。

#### 旧社員 高橋 幸先生(国立情報学研究所)

2015 年度から 2024 年度まで、社員としてお世話になりました。在任中は、研究企画委員や幹事、副支部長も務めさせていただき、皆さまのあたたかいご支援とご協力に支えていただきながら、かけがいのない経験をさせていただきました。心より御礼申し上げます。関西を離れ、支部大会等への参加も難しくなってしまったが、これからも一員として、関西支部の益々のご発展を応援してまいりたいと思います。

#### 旧社員 東郷 多津先生(京都ノートルダム女子大学)

JACET 関西支部では、研究企画委員、総務幹事、社員を務めさせていただきました。思い返せば、多くの先生方との出会いがあり、支えられ、刺激を受けた日々でした。コロナの影響や本務校での職務の関係で、社員としてはあまりお役に立てませんでした。変化を受け入れつつ、しなやかに支部活動を進化させていかれる関西支部のますますのご発展をお祈り申し上げております。今後も会員として活動に参加するのを楽しみにしています。

### ■会員情報の変更 ■ Update Membership Information

支部会員向けの各種案内の配達やメーリング・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報(住所、メールアドレス、所属、電話番号等)が変わられた方は、必ずご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。会員情報の変更のご連絡は、本部事務局(jacet@zb3.so-net.ne.jp)までお願いいたします。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone number, and other information to the **JACET Main Office** (jacet@zb3.so-net.ne.jp).

### ■あとがき ■ Editors' Note

本号の発行にあたり、ご執筆・ご校正にご協力いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

九州北部・中国・四国・近畿では史上最も早い梅雨明けとなりました。皆さま、どうぞ *keep cool* でお過ごしください。次回は 9 月発行予定です。

広報 松岡 真由子(立命館大学)・石田 菖(関西大学)

Many thanks to the those who contributed to this issue through writing and proofreading. The rainy season ended unusually early in western Japan—please keep cool and take care. Our next issue is scheduled for September.

PR: Mayuko Matsuoka (Ritsumeikan University)  
Ayame Ishida (Kansai University)